

平成 23 年 7 月 15 日

お取引先各位

HOT！な情報

ガイナ増産体制へ！！

本日（7月15日発売）の日経産業新聞でプレス発表！

節電を契機としたガイナの需要増（4～6月で前年比5割増）に応える為、カンボジア工場の新設・増強を行い14年3月期までに現在の2倍の生産能力を目指します。

詳しくは添付いたします紙面をご覧ください。

※紙面にある首都大学東京との共同研究については近日中に追ってお知らせいたしますので、いましばらくお待ちください。

日経産業新聞をお求めの際は
お近くの日本経済新聞販売店までお問い合わせ下さい。

株式会社 日進産業

日進産業

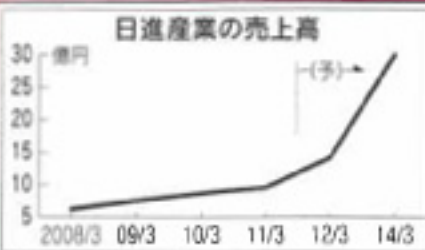
住宅用断熱塗料を増産

14年3月期
までに倍増 カンボジア工場増強

特殊塗料製造の日進産業（東京・板橋、石子達次郎社長）は住宅用断熱材の増産に乗り出す。カンボジアの自社工場に7億円を投入、設備を増強し2014年3月期までに生産量を現在の10倍の年6万缶に引き上げる。東日本大震災を契機に節電機運が高まり、住宅向けの需要が拡大していることに対応する。14年3月期にはこうした需要を取り込み、住宅用断熱材で12年3月期（見込み）の2倍強の売上高30億円を目指す。

節電対策で需要増加

増産するのは同社の主力製品である断熱材「G



AINA」互貫。宇宙航空研究開発機構（JAXA）からロケット向けの断熱塗料の技術供与を受けて開発した。液状タイプで住宅の外壁や屋根に塗ると断熱のほか、防音や防臭効果もある。30〜35平方メートル塗れる1

缶単位で販売しており、価格は5・8万円。通常の住宅では1平方メートルあたり3800円から5千円（施工費含む）。

主力の大坂工場（大坂府堺市）は年6万缶の生産能力を持つ。供給体制の強化のため、このほど7千平方メートルを投じてカンボジアのプノンペン市に工場を新設した。今後、追加投資を実施、生産量を14年3月期までに現在の10倍の年6万缶にまで拡大し、大坂工場とあわせ

て現在の2倍の12万缶の生産能力を確保する。GAINAの受注は震災後に大幅に増加。4月6月はそれぞれ単月ベースで昨年同月比約5割増、7月は引き合いペースで同3倍となった。住設機器大手のパナソニック電工の子会社で採用が決まったほか、大手住宅メーカー2社でも採用が内定。工務店が数百社集まった組織とも契約する見通しだ。

をこのほど終了。研究ではGAINAを塗った住宅は通常の住宅に比べ、夏場と冬場の空調の電力使用量が20%低下かったことを実証している。同社は1988年に設立した。独自の製品にJAXAの技術を取り入れて、06年にGAINAを開発。オフィスや工場、住宅向けに販売してきた。11年3月期の売上高は前の期比1割増の約10億円だった。



断熱塗料の増産に力を入れる日進産業

日進産業は首都大学東京などと共同で取り組んだ環境配慮型住宅の研究



断熱塗料の増産に力を入れる日進産業